

都立高等学校における日本史必修化の進め方について

導入までの経緯

文科省は学習指導要領において世界史を必修化(平成6年度から)
 日本史は地理との選択(日本史を学ばず卒業する生徒あり)
都教育委員会の基本的な考え方
 日本人としてのアイデンティティーをはぐくむため、高校生に日本史を継続して学ばせることが重要。(中学校段階では、深化した歴史学習はできない)
日本史必修化に向けての都の取組
 H18.9 1都3県の教育長が要望書を文科省に提出
 H18.10 都教育委員会が意見書を文科省に提出
 H19.4 都教育委員会が申入れ書を文科省に提出
 改訂された学習指導要領(平成21年3月告示)では世界史必修化継続

他県などの動向
 横浜市(22年度)、神奈川県(25年度)から必修化
東京都として、独自に日本史を必修化する必要あり。

日本史の学習及び設置状況

現行の学習指導要領における「地理歴史」の学習形態

世界史A(2単位)・世界史B(4単位)	左記から1科目選択
日本史A(2単位)・日本史B(4単位) 地理A(2単位)・地理B(4単位)	左記から1科目選択

都立高校における日本史科目の設置状況(平成21年度入学生の教育課程)

課程	全 日 制 (全 175 校)	
設置校	167校 (95.4%)	
	必修で設置 83校 (47.4%)	必修以外で設置 84校 (48.0%)
未設置校	8校 (4.6%)	

導入形態

全生徒必修化済みの学校	現状どおり
一部の生徒が必修化済みの学校 (~ から選択)	日本史A・Bどちらかの科目を全生徒必修に変更する。 「東京都独自の日本史科目」を導入し、日本史を選択しない生徒は必修とする。 「東京都独自の日本史科目」を導入し、全生徒必修とする。
日本史未設置の学校 (~ から選択)	日本史A・Bどちらかの科目を導入し、全生徒必修とする。 「東京都独自の日本史科目」を導入し、全生徒必修とする。

「東京都独自の日本史科目」とは。
学校設定科目「江戸から東京へ」(仮称)とし、以下の内容とする。

特色

江戸・東京の変遷からみた
日本近現代史

単位数 1単位あるいは2単位
 範囲 江戸開幕から現在まで

* 全日制の95%以上で日本史を設置
 * 全生徒が日本史必修の学校は50%弱

留意点

現在の東京に残る史跡や文化財等を活用し、江戸開幕から現在に至る日本の歴史の大きな流れを、政治・経済・文化など様々な側面から、地理的視点も踏まえ総合的に学習する。

導入スケジュール

	東京都教育委員会	都立高校
平成21年度	東京都独自に日本史必修化を表明 日本史必修化検討委員会の立ち上げ	日本史必修化導入への準備
平成22年度	東京都独自の日本史科目の教科書を開発し、作成	全都立高校で、日本史必修化の導入形態を決定 全都立高校で、カリキュラムの策定開始
平成23年度	日本史必修化試行実施 日本史必修化協力校の設置 全都立高校の次年度教育課程で必修化を確認	日本史必修化協力校において、東京都独自の日本史科目を試行 全都立高校で日本史必修化の実現を図ったカリキュラムを決定
平成24年度	日本史必修化全面実施	全都立高校で、日本史必修化が実現

* 平成25年度から新学習指導要領本格実施